

令和4年10月 下田市教育委員会定例会 会議録

令和4年10月25日（火）13時30分、下田市教育委員会定例会を下田市立中央公民館2階大会議室に招集した。

出席委員は次のとおりである。

山田 貞己	教育長
田中とし子	委員
渡邊 亮治	委員
西堀 政幸	委員
天野 美香	委員

委員以外に出席した者は次のとおりである。

糸賀 浩	学校教育課長
土屋 大祐	学校教育課 参事
土屋 仁	学校教育課 課長補佐
増田 義和	学校教育課 課長補佐兼子ども育成係長
朝比奈 誠	生涯学習課 課長補佐兼図書係長
原 隆史	学校教育課 学校教育係長
中堀 啓司	生涯学習課 社会教育係長

本会議録調製者は次のとおりである。

土屋 仁	学校教育課 課長補佐
------	------------

1 開会

13時30分 教育長開会を宣す。

2 会議録署名人選出

会議録署名人に 田中 とし子 委員を選出。

3 9月定例会会議録承認

事務局より資料に基づき説明、承認。

4 教育長報告事項

10月事業報告及び11月事業計画について、学校教育課参事、生涯学習課長補佐から資料に基づき説明。

教育長

かなり寒くなって来ており、子ども達のインフルエンザの感染が懸念される。

インフルエンザの感染は10歳以下が多くなっているため、ワクチン接種を勧めた方がよいとの新聞記事があった。

マスクの着用も今後どうなるのか心配されているが、マスクゼロの生活は、なかなか来ないのではないかと専門家の意見である。

幸いここ2週間は、小・中学校での新型コロナウイルス感染症の感染者の報告はない。

幼・保・こども園については、濃厚接触者の報告はあったが、感染者の報告はない。

このような状況であり、運動会、修学旅行等の行事は、無事終了した。

小学校については、下田中学校のスクールバスを利用した校外学習が目白押しで入っている状況で、中学校についても、先ほど報告があったように、10月27日・28日の2日間は、図書館、給食センターを始めとして、3年生が市内全域で職場体験を行うため、どこかで生徒の姿を見かけるものと思う。

明日は、小学校の連合体育大会が開催され、音楽会も控えている。

それでは、新聞記事を参考に報告する。

10月2日付けの新聞には、下田中学校の運動会の様子が掲載された。

統合後初の運動会で、午前中のみであったが、秋晴れの素晴らしい天気の下、開催された。

観覧に見えた市長も生徒の姿に感動していた。

同日付の新聞であるが、「下田にサーファーが集合」との見出しで、当市出身の大野修聖プロが主催するビーチイベントの様子が紹介された。

グローバルCITYプロジェクト推進事業の一環として開催されたものであったが、下田中学校生徒は運動会当日のため、顧問からは参加しなかったと聞いている。

10月5日付け新聞記事には、「人材育成やイベント、教諭・保護者ら意見交換」との見出しで、今回で19回目となる、未来の下田創造プロジェクト会議の様子が紹介された。

ご承知のとおり、統合前から、新しい学校づくりの基盤について協議、検討してきた会議で、参加者は楽しく会議に参加している。

10月8日付け新聞記事には、米フレンド下田から幼保・こども園への新米の寄贈式の様子が紹介された。

米フレンド下田は、米作りに取り組む有志グループで、今回で7回目の寄贈となる。寄贈いただいた新米は、給食で提供する。

同日付の新聞には、6日の下田市民文化会館を皮切りに、市長と語る会がスタートした旨の記事が掲載された。

昨日、最後の朝日地区での市長と語る会が開催された。

語る会での内容は、主に伊豆縦貫自動車道、今後のまちづくり、観光、防災関係、鳥獣被害関連の話題が多かった。

教育委員会関連では、特に強い意見や要望は無かったが、津波浸水想定区域にある下田保育所ではなく、下田幼稚園が認定こども園に統合されることについて心配する意見があったため、下田保育所は、避難に重点を置いた対応をしている旨の回答をし

た。

その他、下田中学校の近況についての質問や、子ども達に給食を作らせたらいかがかという意見があった。

昨日の朝日地区での語る会では、吉佐美運動公園の在り方に関する話題があった。

10月12日付け新聞には、11日から20日まで開催された、全国地域安全運動の初日に行われた、青色防犯パトロールの出発式の様子が紹介された。

この運動のおかげで、毎朝パトカーが目立った。

小・中学校については、自転車事故も含め、特に報告はない。

10月13日付け新聞には、同様に全国地域安全運動の一環として実施された、下田小学校と南伊豆町南上小学校での下校時の児童の見守り活動の様子が紹介された。

10月14日付け新聞には、子どもの読書推進を図る冊子、「本はともだち」を発行した旨の記事が掲載された。

絵本作家の鈴木まもる先生に作成を依頼したもので、市内で様々な仕事に就いている12人の方々に、読書について様々な視点から質問をし、それぞれの方の読書に対する熱い思いをまとめた内容となっている。

10月16日付け新聞には、グローバルCITYプロジェクトの地域学習の一環として開催した、「しょういん探検隊」の様子が紹介された。

市内小学生及び保護者ら18人が参加し、吉田松陰寓寄処、柿崎弁天島、中央公民館前の拘禁の跡等を巡った。

保護者が非常に熱心で、講師を務めた社会教育指導員も、詳細な語りで、熱弁を振るっていた。

10月18日付け新聞には、図書館整備計画基礎調査の一環として、16日に開催された、下田市立図書館ワークショップの記事が掲載された。

参加者25人が夢のある、今後の図書館の姿について語り合った。

3月12日には、第3回目が予定されており、一般市民の参加を増やし、実施する予定である。

建築、地域のデザインの専門家、図書館経営の専門家、建築学専攻の大学院生などを交えて、生活の中での本のあり方や図書館の利用の仕方、具体的な図書館のイメージをまとめる方向で進めている。

10月19日付け新聞には、下田中学校の防犯標語の応募が県内最多であったことで、優秀校として表彰状の伝達を受けた旨の記事が掲載された。

3年生130人が、地域貢献の一つとして国語の授業で標語を作成し、120点を応募した。

同日付けであるが、来年1月8日(日)に成人式に代わる、「二十歳の集い」を開催する旨の記事が掲載された。

名称は変更となったが、式典の内容に特に変更はなく、新型コロナウイルス感染症対策として、抗原検査キット2セットを配布して事前検査を求める。

保護者は各家庭一人に限定し、座席は間隔を確保して開催する。

市民文化会館が改修工事中のため、会場は下田中学校体育館となる。

10月20日付け新聞には、GIGAスクール構想で整備した貸与ルーターの63%、補助

金に換算し、約 10 億円分が未使用であった旨の記事が掲載された。

最大貸出率 50%未満が 8 割で、一部自治体では、休校時以外の家庭学習を進めていなかったことが要因であろうとのことであった。

休校となればルーターも活躍するであろうが、使用せずに済んでいることが、むしろ理想型との考え方もある。

10 月 24 日付け新聞には、下田高校同窓会が下田高校の中高一貫校化に向け、調査・研究を行い、県教育委員会に提案する旨の記事が掲載された。

以前の新聞にも、「中高一貫校下田に」、「中高一貫校設立を」、との見出しで記事が掲載されていたが、24 日付け新聞には、「寄宿舍備えた中高一貫校を」、との大きな見出しで掲載されていたため、委員皆さんがどのように思われたのか、また、感想を聞かせていただきたい。

この記事が伊豆新聞の一面に出た後に、県教育委員会から、反響についての問い合わせがあった。

県教育委員会からは、「同窓会の方々の中にも色々な考えがあるだろうから」、とのことであった。

市長と語る会の開催期間中の記事であったが、本件に対する質問は一切なかった。

同日付新聞には、先ほど生涯学習課からも報告があった、ふれあい広場 2022 が開催された旨の記事が掲載された。

「ふだんのくらしのしあわせ、ひとりひとり手をたずさえて、地域をつつみこむ大きな輪に」をテーマに、26 団体が参加し、約 500 人の人出で賑わった。

実行委員長からは、3 年ぶりに開催出来て良かったとのコメントがあった。

その他資料には無いが、自分の目に留まった記事について、報告する。

10 月 5 日の新聞には、「県警と児童相談所のつなぎ役奮闘」との記事が掲載されていた。

児童相談所と警察の連携はなかなか難しいところがあり、県内の児童相談所 5 か所にそれぞれ警察官が一人ずつ配置され、つなぎ役をしているということで、非常に両者にとって良い役割となっているとの記事であった。

警察と児童相談所、学校、福祉事務所等の連携が非常にスムーズになっていくものと思われる。

10 月 12 日には、「園バス安全装置義務化、違反は業務停止、来年 4 月から」という記事があった。

それに関連し、10 月 20 日の新聞には、装置の過信は禁物との社説が掲載された。

牧之原市の事件の約 1 年前にも同様の事故が発生し、その際、最終的には人の目と言っていた先生がいたが、「安全装置への過信は禁物で、使うのは人間であって、絶対ということは無く、大切なのは人の目だという原点を忘れてはならない。」との記事であった。

10 月 21 日の新聞記事には、県内中学校及び高校教諭が速度超過で摘発された旨の記事が掲載された。

55 歳の中学校教諭は、60 キロ制限を 43 キロオーバーの 103 キロで走行、28 歳の高校教諭は、50 キロ制限を 30 キロオーバーの 80 キロで走行し摘発され、二人とも懲戒

戒告処分を受けた。

今日の新聞には、冒頭でも申しあげたが、子ども達のインフルエンザ感染の懸念の記事が掲載されていた。

オーストラリアでは、4月にインフルエンザが猛威を振るい、日本でも新型コロナウイルス感染症の第8波との同時流行も懸念されるとの記事であった。

教育長報告事項について、意見、質疑等あればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 教育長報告事項については、承認するものとする。

5 議事

(1) 報第11号 専決処分の承認を求めることについて

専第11号 下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について

教育長 報第11号専決処分の承認を求めることについて、専第11号下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱についてを議題とする。

事務局の説明をお願いします。

学校教育課長 報第11号専決処分の承認を求めることについて、下田市教育委員会教育長に対する事務委任規則第2条の規定により、専第11号下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について、別紙のとおり専決したので、承認を求めるもの。

下田市いじめ防止条例第14条第3項の規定に基づき、前任委員の残任期間を委嘱するもので、静岡地方法務局下田支局長補佐を、令和4年9月30日から令和6年8月25日までの任期で委嘱した。

提案理由は、職員の異動によるもの。

教育長 報第11号専決処分の承認を求めることについて、専第11号下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について、質疑等あればお願いしたい。

全委員 特になし。

教育長 質疑等もないため、報第11号専決処分の承認を求めることについて、専第11号下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱については、原案のとおり承認することとしてよろしいか。

全委員 異議なし。

生涯学習課長 報第11号専決処分の承認を求めることについて、専第11号下田市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱については、原案のとおり承認するものとする。

6 協議報告事項

教育長 事務局から、協議報告事項があればお願いします。

事務局 特になし。

教育長 それでは、協議報告事項は終了する。

7 その他

教育長 その他に、事務局、委員の皆さんから、何かあれば、お願いします。

天野委員 昨日、県経済産業部お茶振興課から、子ども達にお茶の提供があった。

先ほど教育長報告にもあったように、インフルエンザの予防を兼ねて、県の「水筒にお茶を入れて学校に持って行こう」とのマイボトル持参運動の取組の一環で、1人20本程度いただき、子どもが持ち帰ってきた。

試飲したところ、香りも良く、飲みやすく、子ども達にお茶の良さや、緑茶のカテキンが、インフルエンザウイルスの感染を防ぐ効果がある等の成分効果を知る良い機会を与えていただいた。

子どもも喜んでおり、早速家庭でもいただいたため、報告する。

教育委員会 11月定例会を11月24日(木)13時30分から下田市民スポーツセンター会議室で開催。

8 閉会

10月定例会 10月25日(火)13時30分開会。

教育長 14時12分に閉会を宣す。

会議録署名人